

第1回 清瀬市公共施設を活用した子どもの居場所検討委員会会議 会議録

1 開催日時

令和6年7月24日（水）15時30分から17時まで

2 場所

清瀬市役所3階 会見室

3 会議内容

(1) 開会

(2) 挨拶

澁谷市長が挨拶を行った。

(3) 委員の自己紹介

各委員が自己紹介を行った。

(4) 資料確認並びに検討委員会の趣旨及び進め方について

事務局から資料確認及び検討委員会の趣旨及び進め方について説明を行った。

(5) 委員長・副委員長選任

推薦により有村委員が委員長に決まった。

有村委員長からの指名により、小俣委員が副委員長に決まった。

(6) 委員会の公開について

事務局から委員会の公開について説明を行った。

委員の総意により本委員会が公開となることが決まった。

(7) 子どもの居場所づくりのニーズと今後の居場所づくりについて

清瀬市に子どもの居場所づくりのニーズと今後の居場所づくりについて、事務局が説明を行った。

(8) 意見交換

・小学校4年生から6年生の子どもが学童に入れない場合に、過ごす場所が課題だと感じる。

・「小1の壁」という話があるが、小学校4年生という壁もあるのでは。

・小学生の足でいける距離に「居場所」があるというのが大事。行政でそ

のような居場所づくりを行ってほしい。

・学校に新たな「居場所」を作る場合、いろんな制約が生じてしまうのではないか。

・「居場所」には防犯面での安全、心の安全が必要だと感じる。

・家、学校以外のサードプレイスが必要だと思う。

・子どもは体を動かすのはすごく大事。ボールを使えるところがあまりないので、自由に走れたりすることが可能な場所があるといい。

・不登校の子どもの居場所づくりを考えていく必要がある。今ある居場所にはどんなことがあるのか、等の居場所のマップがあるといい。

・「居場所」の安心・安全には、大人の目が必要。誰が見守ってくれるのが大事。

・大人が「居場所」を安心な場所だと感じるのは、職員がいるから。こどもは友達がいればいくかもしれないが。

・子ども達同士の関係をうまく見守ってくれる人がいることが大事。

・学習スペースと遊ぶスペースを分けられるといいのでは。

・帰宅する時間を知らせるチャイムや音楽があるのはいい。

・乳幼児に対するサービスは充実している。小学校に上がったときのサービスがより充実するといい。

・「居場所」にボランティアを配置するという事も考えられるが、そのようなボランティアに対しても一定の研修を行う必要がある。

(9) その他

次回日程等について事務局より報告をして閉会となった。